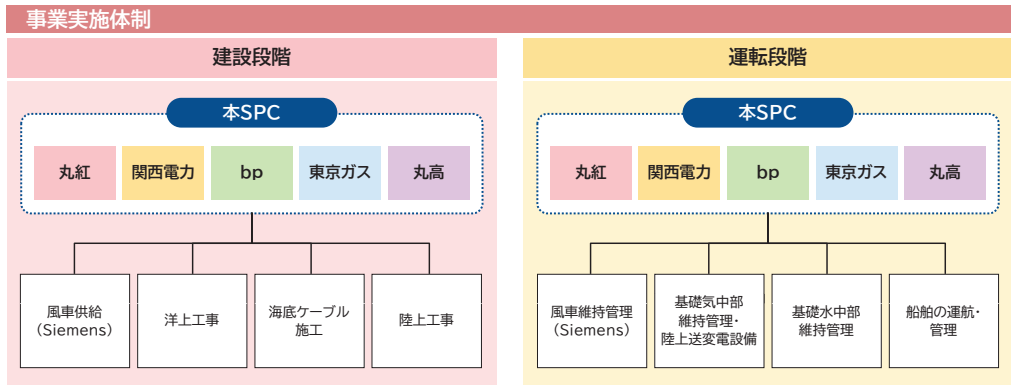


【様式 3-1-2】公募占用計画の要旨



事業計画概要

事業者名	山形遊佐洋上風力合同会社
発電設備出力	450MW
基数	30 基
風車機種	SG DD-236+(Siemens Gamesa 製)
運転開始予定時期	2030 年 6 月
基地港	酒田港
基地港湾の利用期間	2028 年 4 月～2031 年 3 月 (建設) 及び撤去時
供給価格	3.00 円/kWh



工事計画 (スケジュール、利用する港湾名、港湾利用スケジュール)

工程	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
▼事業者選定(2024.12)								
調査	▼事業者選定(2024.12)						▼運転開始(2030.6)	
環境アセスメント	[進捗バー]							
WF認証・適合性確認	[進捗バー]							
洋上工事	[進捗バー]							
陸上工事	[進捗バー]							
試運転	[進捗バー]							

サプライチェーン形成計画の概要

- 外部環境に左右されない継続的・安定的なハードに係るサプライチェーンを形成し、風車の主要部品の国産化・複線化・短納期化を図ります。なお、風車の主要部品以外にも、国内サプライヤーの洋上風力向け新技術・製品開発への支援等に取り組むことで、電力安定供給を実現します。
- 詳細な人材育成計画の策定や教育機関と連携した雇用創出施策を講じるとともに、構成企業やそのグループ企業の豊富な人材プールを最大限活用した人材調達を行うことで、電力安定供給に必要な人材を確実に確保します。

地域共生策の概要

地域に「ねぐさ」	関係漁業者や地域の皆様との丁寧な協議、関係の深化、現場課題やニーズのくみ取りにより、実態を踏まえた実効的な協働・振興策を実現します
地域に「もたらす」	本 SPC 構成企業が異なる分野で有する強固なビジネス基盤を結集し、遊佐地域の社会課題に対して多様なソリューションを立案し、提案・実行します
地域に「のこす」	本 SPC を起点に多様な地元企業・人材を巻き込み、地域主体の協働・振興策を実現し、事業期間終了後も遊佐地域が継続して発展する仕組みを構築します



地域・国内経済波及効果

- 地域経済波及効果は、発電事業と地域振興の取組を両輪として、最大化に向けて取り組みます。
- 国内経済波及効果は、本事業での国内調達の最大化や風車メンテナンスの早期内製化等を通じて最大化に向けて取り組みます。
- 加えて、サプライヤー支援や人材育成等を通じて、中長期的な国内経済・洋上風力産業の発展に貢献します。

	生産誘発額	雇用者誘発数
地域経済波及効果	3,886 億円	32,241 人
国内経済波及効果	8,916 億円	48,698 人